【許可郵便物第三種郵便物認可】　昭和十一年三月十三日　碧城新聞　【金曜日】　第四千五百七十二號　【一】

夕刊
碧城新聞
三月十二日號行
日曜祭日翌日休刊
定價（金曜日ヲ除ク毎日發行）一ヶ月金六拾五錢　廣告料金【廣告種類】金大拾錢【廣告文字一字ニ付】金一錢【廣告一行ニ付】金壹錢【廣告ノ場所ニ依リ特別ノ割增アリ】
發行所　碧城新聞社
發行人　柏木哲
電話平局第五大四番
愛媛県碧城市（ハイライツウ）平局第五大四番
碧城市開発協同組合印刷所
碧城市石城町十二番地

隨筆

今日も亦想ひき

丘の

何事か、たはごとをゆめ　いつはりにみいて行く人達と、俺とは別うとするあなな人間でなければならないれどる？
答なのだ　現實は、そ
俺は、生きて行かねばうな事のみを
ならぬあえぎ〳〵生きてくれる
行く俺には、すべてのものでも結局仕
は皆々夢でなければならなのなの世の
いのだ俺は、貴女をそう中の仕方のな
として置きたかつた　かつてにし
貴女のその汚れのない姿なる様にき
を、何日迄もかくあれと祈ろ
つてゐた　騒いた所で
夢に見る貴女の姿は、外ろで、逆さに
の人と違つて清淨だつた　世の中ぢやな
清く天使の様な姿だけがい
あなたの全部だつた
だが、だが、アハヽ、
夢は夢さ……

彼は生れると、金に苦しめられた。そして金に苦しめられて育ち、金の恐ろしさを、しみじみと味ふて死んで行つた
あはれな男である
だが、彼のみを、哀れな男と、あはれむ事が出來ない。
俺は、彼の事をふつと思ひ出すと、ほろ苦い何ものかを覺える
俺も、金にくるしめられて死ぬ男らしい
見にすいた様な、いつはりを言つて、獨り悦に入る人々よ！
私には、あはれどきり感じられない

個人所得營業收益等の申告申請に就て

高屋稅務署長談

下

貸金利子につき營業に非ざるものに限定したのは貸金營業者には營業收益稅を課稅されるから、これらの重複を避けたのであります。これに控除の申請はありません

食ふ苦のない、世間を知らぬ子供達をうれしく思ふ
悲しい事があれば、思ふ存分泣く。それも皮そうな、かなしみだがくるしい所あれば、思ふがまゝにこねる。邪氣のない子供達
私にも、あんな時代が有つた
もう一度、有りたいと祈る、あんな時代
かなしくも、悲しむ事を許されぬ現在の自分
くるしくとも、苦しむ事を許されぬ今の私
なにを言れても
それは、阿呆だら經にすぎないらしい

盤城歌壇

新、妻　久滿男

「ヒヤシンスの芽」

○いのち勁き一日の伸びや　ヒヤシンスの青鉢の芽は　土をもたげし
○鉢のごと　青芽の立ちを　かなしみと　日むきに　鉢をわが置きにけり
○ヒヤシンスの、青立ちの芽のやはらかさ　見のかなしさに　指を觸りけり
○やはらかに形ととのへて　芽をたてし　しづけき青の　照りの寂しも
○なべて芽の　つやめき光るまがなしさ　日に向けて瞻る　そのまさをさを
○やはらかに青芽の伸びをそろはせて　蕾つつめる　鉢のヒヤシンス
○部屋に置きて　花咲かせむと　ヒヤシンスの鉢のよごれを　洗ひおとすも

講談

黃金魔及

(98)　高桑義生作
樋口悦也畫

さすらひの子　(三)

寛之助は意外な面色でいふのであつた、彼は遊女の境涯をはつきりと知らないらしい。雛鶴はさびしい顔になつて

「はい、親方の屋形に金で買はれた身の上、浮む瀬のない、苦海にしづむ者でございます」

「ほう〳〵そなたにもむごい親方があるのか」

「むごいといふほどではございませぬが……」

「そなたはこの廓二千の遊女のうちでも指折のわらい女子と聞いたが……」

「生涯浮びあがる日がございませぬ。一日もあかるいうございますが、そのやうな御心配はどうぞ御無用になされませ。わたしは何にもかもあきらめて居りますこの世に何の望みもございませぬ」

「ほんにさうでございますまいね」

「たしかに引受けたとはいへぬが、ひと骨折つて見るだまつて見てはゐられない

なくては自由になれぬのだし少し心當りがあるからな。わたしも少しばかり有その身代金とやらを明日につてゐるが、そんな大金はもわたしに聞かしておくれ夢にも及ばない、困つたな！」

「えッ」

雛鶴は驚いて

「いゝえ、御親切はうれしうございますが、そのやう日の目を見る事がございまなりませぬ。一日もあかるいうございますが、そのやう

「しかし、金さへあれば……！」

お金さへございませば……この世の中は、金がかたきでございます」

寛之助は憮然として考へ

金　金　金——

有るところにはうなるほど有るかわからない金。現に島原屋にはどれだけ有るかわからない

上杉謙信春日山城に斃る（天正六）△床下に爆藥隱つて居りますが、みんな賤匠の坑夫牢署に檢擧（昭和一〇）

冬曉二首

珠雲　小野務平

朔風凜烈粟頻生
夜半燈前夢未成
欲犯災寒誇早起
曉天遙聽驛鈴聲

宵月

三春にて
清水正子

窓にもたれてもの思ふ！
曈は曇る我が愛
淋しさはいやに曇りぬ我が心
降る雪に、ほゝぞ濡れける……

微笑に、涙かくして、そと書きし
ノートの端に君がみ名
君が名に唇、あてゝ永久の幸を
祈りぬ、今宵淋しき

「おほゝゝ……身に錦を飾と心ふ評判た、今日堂島のつて居りますが、みんな賤出店でこの大阪の鴻池、三匠の坑夫牢署に檢擧（昭和一〇）

冬曉二首

珠雲　小野務平

朔風凜烈粟頻生
夜半燈前夢未成
欲犯災寒誇早起
曉天遙聽驛鈴聲

宵月

三春にて
清水正子

窓にもたれてもの思ふ！
曈は曇る我が愛
淋しさはいやに曇りぬ我が心
降る雪に、ほゝぞ濡れける……

微笑に、涙かくして、そと書きし
ノートの端に君がみ名
君が名に唇、あてゝ永久の幸を
祈りぬ、今宵淋しき

「人といふものはわからぬものだなあ。わたしの仲間も、親方の手に品物のやうに金で買はれたものだが、するとそなたもおなじ身の上なのか、しかし。賤しいといふ事はないはずだ。世間は唯一人賤しい者はないと思ふ」

「左樣でございませうか」

「して、どれほどの金で買はれたのか？」

「最初の身代金三百兩」

「三百兩大したものだな」

「今はどれほどに積るかわかりませぬ」

「すると、それだけの金がなくては自由になれぬのだな。わたしも少しばかり有るからな。わたしの身代金とやらを明日につてゐるが、そんな大金はもわたしに聞かしておくれ夢にも及ばない、困つたな！」

「えッ」

雛鶴は驚いて

「いゝえ、御親切はうれしうございますが、そのやう日の目を見る事がございまなりませぬ。一日もあかるいうございますが、そのやう

「しかし、金さへあれば……！」

「ほんにさうでございますまいね」

「たしかに引受けたとはいへぬが、ひと骨折つて見るだまつて見てはゐられない

「誰だつて自由になりたいはずだ、どれだけの金が要るのかわからないが、わたかれはあらなる不幸な人々を救ふ事だと信じてゐる

寛之助は懷から包のまゝ野屋などといふ分限者は日本でも五人の金持に數へらの金を取り出して

「こゝに五十兩の金がある。そなたに預けて置くつもりでなたにあげよう」

ひな鶴は二度びつくりした。五十兩、今とちがつて大金である

「めつそうな。お金など要りませぬ。そなた樣こそそれは御入用のお金でございませう。おしまひ下さりませ。そして、ふつゝか者ではございますが、金の事はお心にかけず、いつ何時でもこの住吉屋にお出で下さりませ。雛鶴はたのしみに待つて居りまする」

その時

「御免なさいまし」

襖がすツとあいて、見知らぬ人間が目の前にすわつた

三月雛人形陳列

桃の節句が近づきました
可愛いお嬢さん方のお祝には
フクダヤの雛人形
本年の特製品、セット物
古代人、形童諸人形等々
あらゆる種類を集めました
ぜひ御一覽下さい
◎一人物箱入　三十錢ヨリ
◎二人物箱入　六十錢ヨリ
◎御殿付内裡壹圓ヨリ
◎セット物百圓迄
いくらでも揃つて居ます

フクダヤ祝品部
平二丁目

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
入院隨時
郡山市外大槻村針生
郡山腦病院
電話九二五番
院長　醫學士　金森五郎

社員採用
固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歷書持參本人來談
平町鍛冶町十八
公社債券
現物資買擔保貸附
日本商事株式會社平支部

產婦人科
外科
藥局
入院隨意
病室完備
平町新川町十九番地
電話一六四番
院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄
木村病院

新入學用品陳列
健正ランドセル　通學用運動靴
學生ボーシ　手提カバン
其他
ヤルツ
平四一〇電四

廣告
下痢病妙藥ヲ御紹介致シマス
天下一品散
平町ネヅミ坂角
特約店
桑原商店
【取次販賣當二癪ズ】

磐城名物
靈峰羊羹
小川鄕驛前
平屋賣店

松村醫院
院長　松村鐵郎
平町南町電一〇七

平町南町
大和田醫院

安齋外科醫院
平町田町
電話四七五番

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社直油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戸線下館驛前
（電話五五・三三九番）
茨城縣土浦町田宿
（電話六五三番）
支店　常磐線本驛前
（電話平二四番）
常磐線四倉驛前
（電話四八番）
久慈濱支店
（電話一三七番）
海上給油（大津、平潟及油槽所（小名濱、江名濱
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻油、種油、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

妙藥
スズコ
百日咳
小兒痰咳
小兒氣管支カタル
平町田町
阿部藥舖

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
味噌醬油
たひら正宗
經節食料品
山崎合名會社
廳島縣平町
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

名湯
鹿の湯
湯之網鑛泉
二百餘年の昔、病める鹿が浴してゐたといふ鑛泉!!　昭和の今もこんこんと溢れ湧いて、バスを降りれば半里位の山間に、美しい風光と共に、浴客をお待らして居ります。
効……神經衰弱、神經痛、リウマチス、胃腸病、子供の蟲氣、婦人病
○平町から日歸り御入浴もラクです。
○關本驛、磯原驛からバスの便あり。
○關南村役場で、御案内致します。
○自炊なさる諸道具ととのつてゐます。
茨城縣多賀郡關南村湯之網
（女中募集）　元湯　松屋旅館
親津さよ
◎御滯在、團体は割引致します。

三十一回生徒募集
躍進日本の女性に!!
婦人の職業として
產婆看護婦を御奬め致します。
それには成績の最もよいと定評のある
平南町　產婆看護婦學校へ
◇申込み成るべく早く
◇新學期の開始は四月八日より
平產婆看護婦學校
校長　清野キヨ子
（電話三〇七番）

地方炭界依然明朗 飛躍的の增送を持續
鐵道の消化旺盛と事業伸展を語る
今月上旬中の統計

去月中に於て省用方面迄增加の朗かな數字を示した常磐各山元の去る一日以降十日迄の發送高は
營業用五、一〇二車 六〇、二九一瓲 省用一、八四四車 二三、二〇八瓲 合計六、九四六車 八三、四九九瓲
で前年同期に比し
（增差）營業用八九二車 七、二八二瓲 省用二六一車 三、七八六瓲 合計一、一五三車 一一、〇六八瓲
即ち一日平均百十五車千七瓲の飛躍的增加を見せ地方炭界の前途に極めて明るい何物かを示唆してゐる

納稅申告指導
明夕マルトモで

國稅（營業純益、所得額）は來る十五日迄縣稅（蓄音器備人稅）は同卅一日迄が申告期限で右期間內の申告を怠ると老幼癈疾の控除その他折角の恩典に洩れ其間遺憾少からぬものあるので平商工會では深く茲に鑑みる處あり明十三日午後七時よりマルトモホールに於て左記の通り疑義解說に關する講演を開くと
一、營業純益、所得額の申告に就て 平稅務署長
一、蓄音器、備人の申告に就て 平町役場 高屋俊造 須藤鶴之助

百廿年（文政年間）を經た少女の固まり佛
欣淨寺で獵奇的開帳

念佛の功德で百二十年前の少女が腐らずに固まつたと云ふ全く珍しい佛樣の御開帳が明後十四日から七日間平町材木町の欣淨寺に於て催される、この固まり佛は文政年間以來茨城縣水海道町黑須家の秘藏佛で當時天然痘の爲十歲で亡くなつた少女千代が祖父の熱心な念佛の功德によつて座つた其の儘固まつたと云ひ傳へられ、信仰の力、念佛の功德の廣大無邊を物語るものとして從來各地に於て開帳し來つたのである

稅務振興協議會創立

石城郡稅務振興協議會は十一日創立左記役員を決定した
會長―平稅務出張所長佐藤莊吉 副會長―須藤鶴之助（平）坂本欣一郎（小名濱）評議員―馬目武之助（勿來）小宅廣喜知（植田）山本直次郎（泉）內山吉五郎（湯本）中村喜平（好間）菊地晴雄（豐間）小松桝太郎（內郷）阿部英雄（澤渡）竹內武技（四倉）馬上豊（大野）

中等校願書
磐女が最多

今十二日正午現在の平町三中等校入學願書受付數は左の如く、なほ磐中、磐女は來る十五日、平商は同二十四日締切である
磐中（約二五〇）六二
磐女（約二五〇）一三〇
平商（約一一〇）三七

レヴューの魅力
催促の強腰もフラ〳〵 ＝鐵砲玉の弟捜し＝

栃木縣黑磯町大島太一（三九）は去月中旬兄の西白河郡西郷村大倉甚藏が當時黑磯町で興行してゐたレヴュー天勝興行主への貸金催促のため天勝の後を追つて平町方面に來たまゝ行方を晦ましたが或はレヴュー女に魅せられて貸金もそのまゝに入りびたつてゐるのではないかと甚藏からも十二日平署に捜索願

磐女で七名
女師合格者

先頃施行された本縣女子師範校入試に磐女から在校卒業併せて廿二名受驗したが左記七名合格した旨今十二日母校に通知あつた
大塚昭子 峯口定子 薄葉喜代子 鈴木政子 筒井久子。橋本キミ（以上在校生）加藤サタ（卒業生）
なほ右大塚孃の姉澄子さん（昨年卒業）は東京女高師臨時教員養成所の入試に合格同じく今十二日母校に通知あつた

先づ前提問題の中間道路位置決定
公會堂敷地 今月末迄に決定

平町百年の大計たる公會堂建築案は新豫算に八萬圓を計上し愈々中町地內元博覽會跡に新築する豫定であつたが過般の豫算委員會に於て俄然橫槍が入つたので新に新敷地を選定する事になり町では昨十一日これに關係する第四小學校土木と聯合の下に委員會を開き、實地調查の結果
これが前提たる第四小學校及町營グラウンドの中間を貫通する新通路（幅員六間、延長百間）の位置は現在の公會堂新築豫定地たる中町地內より新川を經て字三崎、菱川兩地內に決定を見た
よつて町ではこれが道路に沿ふた新敷地の地價を研究した上今月中更に委員會を開き正式に新敷地を決定する事となつた

凶作救濟林道開鑿
川前の第一期工事完了

川前村大字川前より同村高部に通ずる凶作對策工事は昨年十二月より四ヶ年繼續事業として總工費四萬二千圓で着工したが第一期四千圓の十年度工事が此程竣功したので更に近く二千五百圓の追加繼續工事を行ふ

亡夫の扶助料を奪れた歎きの寡婦救はる
平署の明るい裁き

湯本町雜貨商松川鶴治の養子伊吉（三九）君は愛妻あい子（二四）さんと今から三年前渡滿し滿鐵の電氣工夫として睦まじい生活を送る中伊吉君は昨年十一月過つて感電し無殘にも即死したのであい子さんは會社からの手當金二千六百圓と亡夫の遺骨を抱へて悲しみのうちに歸郷し野邊の送りもつゝがなく濟ませたが、伊吉君の親戚は相談の結果葬式その他の費用として差引いた二千百餘圓の中から實父の鶴治が一千圓、伊吉君の實兄松川伊之五郎が五百圓、同君の兄理助が三百五十圓、親戚の松川松太郎、同喜伊夫、陽助、大原重吉等が各五十圓を山分けして殘りの僅六十圓をあい子さんに與へたのみのほか出て行けがしに辛く當るのでとう〳〵二月末實姉の岩瀬郡鏡石村大字笠石堀川とらさん方に身を寄せてゐたが餘りにも非道な仕打ちにあい子さんの義兄堀根茂資氏ほか一名が十一日平署人事相談所にこの旨訴へ出たので同署では早速關係者一同を呼び出し昨十一日取り敢えず五百圓を吐き出させ今十二日あい子さんを呼びよせ一切解決したので同女も少からず感謝して引下つた

。。。。。。產組優良員表彰 產業組合部會では十二日永年奉職して盡力した左記四氏を表彰した
佐藤定信（小川）吉田久壽（大浦）石井子之松（勿來）高橋好一（平）

天氣豫報
小名濱測候所觀測
今晩は南東の風曇後晴
明日は南の風雨

春なれや 惱みの學帽

その一…山形縣東村山郡大字山元榮正弟山形中學生氏家忠夫（三〇）は去る八日午後二時頃現金五百圓を持つたまゝ行方を晦ましたので山形署から

その二…東京市牛込區納戶町五雨宮義雄方宮狹彌進（三九）は八年三月より雨宮方に止宿日本法制大學國漢部專攻中去る七日突然行方不明になつたので、何れ

老婆を轢く

十一日午前十時ころ平町長橋町運轉手鈴木長一郎（三五）がバスを運轉して內郷村國道を疾走中通行中の同村本田みつ（五八）を引き倒し頭部に全治十日間の傷を負はせた、直ちに平町安齋病院に收容中である

愈々具体化した大工町踏切改造
平町新風景展開

平驛構內大工町踏切りは機關庫の近くにもあり且つ交通頻繁な個所丈けに町では數年前町會に於てこれが改修を決議し以來促進運動を續けてゐたが鐵道豫算の關係から容易に實現を見ず今日に及んでゐたが近くは平小鐵道の敷設によつて構內の狹少を來すので愈々近く馬蹄型の跨線橋に改造する事となり水戶保線八重樫技手が來平、町當局其他關係筋と協議した
位置は大体大工町より元品川白煉瓦工場の方へ迂回して仲間町に至るらしい

。。。。雨巡査陞敍 平署巡査草野高志、佐藤雅之助兩氏は何れも此程勳八等に陞敍した

富民研究會
郡內農會で結成

郡內町村農會では今般農村の福利增進を目的に全國富民協會の連絡機關として富民研究會を組織する事になり來月下旬發會式を擧行する
會費は年七十錢（富民協會報代金）研究會推薦の會員は年一回愛知縣安城で開かれる講習會の經費を支出される

追憶の揚土台を後に巢立ち行く若鳥
けふ平商卒業式

平商業學校の第十六回（補習校通算二十二回）卒業證書授與式は今十二日午前十時から同校劍道々場（講堂は腐朽甚しく危險、昨年中より使用せず）に於て擧行された、校長開旨、國歌合唱、勅語奉讀、卒業證書、教練合格證書並に賞狀賞品授與、校長の誨告に次いで青沼平町長別項告辭來賓を代表して鈴木光吉氏同窓會を代表して比佐三郎氏各祝辭、前配屬將校駒場繼大尉訓示を述べた、在校生を代表して四年金成信一郎君送辭を贈れば、岡田彥太郎君卒業生を總代答辭、卒業生保護者を代表して根本品藏氏謝辭を述べた、校歌合唱、十一時過ぎ校長の閉旨に式を終つた

卒業生出身町村別
今日を『希望の首途』として世の大海原に澎湃ぎ出る前記六十五名の出身町村別は左の如く平町を除いては內郷村が最多である
平二〇 內郷一〇 好間七 湯本六 草野 神谷 赤井各三 小名濱二 勿來 江名 植田 四倉 上小川 錦 平窪 大浦 双葉大久 同廣野 多賀 平潟各一

帝國の現狀を認識 國家有用の材たれ
平商卒業式 青沼町長告辭

告辭
（前略）惟ふに輓近帝國は世界的地位益々高く國威の顯揚洵に刮目するものあるに伴ひ現下の情勢は有史以來の重大時機を招來いたし國民生活は多年に亘り不安の脅威を受け國家經濟の難局に直面し加之思想界の混惑と國際間の難關は最近に於ける二・二六事件の如き我國未だ曾つて有らざる大不祥事の勃發を見るに至り眞に國步艱難の非常時であります、此際我々國民に待つところのものは只管至誠以て時局に善處すべき忠君愛國の協力一致中正にして穩健なる國民精神の作興に努め自律創造の精神と刻苦精勵國民生活を更生し國力の充實を圖らねばならぬと信ずるものであります、故に之の非常時日本の打開は卒業生諸子の如き新進氣銳の靑年に期待すること極めて多大なるものありと信じます、斯る時代に業を卒へ希望多き活社會に躍進する諸子は深く思ひを茲に致し將來直に社會の實務に就くと進んで上級の學窓に學ばんとするを問はず最も堅實なる過程を辿つて一路前進するに於ては必ずや光輝ある使命を果し得べく依て以て自力更生の新天地を開拓し得ることゝ信ずるのであります、卒業生諸子須く帝國の現在と將來に鑑み健全有爲なる中堅國民たらむことを念願し社會の誘惑を排擊し一層身体を强健にし純眞にして潑剌たる靑年の氣魄を失ふことなく多望なる前途に向つて勇往邁進國家有用の材となりて上は皇恩に報ひ奉り下は師父の期待に副はれんことを切望して已まぬものであります
終りに諸子に對し一言せむとするものがあります本校は縣立磐城中學校の舊校舍を襲用し今日に及びしが建築以來三十有餘年の久しきに及び改築を要する時機に近づき本町に於ても茲に見る所あり今や具体的調查を進行せむとする機運に際會致しましたから昭和十一年度に於ては之れが調查完了を見るに至るべきを想像するのであります（後略）
昭和十一年三月十二日
平町長 青沼鉾太郎

酌婦稼業は辛い
負傷しながら逃走 水戶驛で逆戻り

豐間村大字豐間料理業實顆亭事鈴木房次郎方抱酌婦萩野千代子（一九）は十日早曉平署宛『商賣がつらくて勤まりません、借金は後日返します』との手紙を出し前借百五十餘圓を踏み倒して逃走、平驛から上り列車に乘り込んだが水戶驛で捕はれた、逃走の際高窓から飛び降りて足部其他に負傷してゐた

まさに「惱みの春」
中毒患者の襲來に 町役場タヂ〳〵

中毒患者の醫藥哀願で時々惱されてゐる平町役場に昨十一日は一度に四名の天刑病者が訪れて、吏員もタヂ〳〵の態だつた
朝鮮生れの金良（三五）と岐阜縣江奈郡生れ農林一雄（三〇）同電工松井次郎（三四）岩手縣和賀郡澤內村農吉田喜作（三五）で何れも醫料を惠み旅立たせたが役場でも『これから暖くなると一層殖ねて來るのでやりきれないね』と惱みの春を歎いてゐる

。。。。。。三方部校長會 郡下校長會第三、四、五區校長會は今十二日平第一校に會同、來年度の教員組織に關し打合せた

米價稍高値
きのふ共販

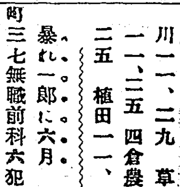
石城販聯の俵米定期共販は昨十一日行つたが相場左の如く內閣成立により前回に比し若干高値
大野一一、四五錢 神谷一一、四〇 平一號一一、三七 二號一一、三五 三號一一、三〇 飯野一一、三六 平窪一一、三二 高久一一、三二 小川一一、二九 草野信用一一、二五 四倉農會一一、二五 植田一一、二二

。。。。。。暴れ一郎に六月 平町田町三七無職前科六犯大崎一郎（三二）に係る傷害事件公判は今十二日午前十時から平區で香西判事係り淸田檢事關與開廷、求刑通り懲役六月を言渡され直ちに服罪した

高久小學校五教室增築

高久村小學校五教室增築は工費一萬五千圓を投じ施工する事に決定來る二十日頃着工する

十三日（小名濱測候所調查）
日出 五、五二 月出 後一〇、三二
日沒 五、四二 月沒 前七、五四
滿潮 前五、四〇 後七、一〇
干潮 前〇、一〇 後〇、四五



諸判定總帯 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

▲一白 どんよくは信義を失ひ身をほろぼすの基となる注意▲二黑 親密なかくときは萬事に惡影響を及すべし▲三碧 快刀らんまを斷つ如く大に奮起努力するに吉▲四綠 堅實に活氣を添へて小さな處置すべし病注意▲五黃 釣上げ一物はくざれなはにて期待に外…▲六白 萬事優勢に展開ありこ…すべき日起業開店吉▲七赤 こ…をすえて押强く定業を守り利自ら加はる▲八白 田獵一兎をも得ず空しく歸る如き無功の日▲九紫 往き先に難み多し足ごしらへの愼重なるに吉

舊二月二十日 金曜 甲午 先負 平 牛宿 新三月十三日

生徒募集

祖國を愛する女子は來れ！
大自然に親まんとする女子は來れ！
花を愛で野菜を撫育し趣味の生活を求めんとする女子は來れ！

磐城家政學園（平町八幡小路）
◎本科 ◎專修科 ◎別科
願書提出四月二日まで
授業開始四月二日より
學則進呈

新學期 通學服
新學期が近づきました。
可愛らしい、坊チヤン、孃チヤン方の通學服を豐富に取揃へて 特價奉仕…
◎黑小倉 1、20ヨリ
◎同（特製） 2、30ヨリ
◎紺セル金釦服 3、60ヨリ
◎紺セルKO型 4、00ヨリ
◎第二、第三制服 3、60ヨリ
◎紺セルセーラー服 2、60ヨリ
◎防水マント 1、20ヨリ
◎同（袷） 1、65ヨリ
ふかや洋服店 平三 電208

成田山大護摩修行團体募集
一、四月三日（神武天皇祭）（金曜日）午前七時三十二分平發、翌日午前十時成田解散
一、會費 金八圓五十錢也
但、片道汽車賃、車中辨當及茶菓子代、成田宿泊料及茶代祝儀 大護摩修行料、箱札料一等坊入料席上諸祝儀
外ニ宗吾靈堂御護摩料共
但、成田、宗吾間電車賃ハ自辨ノコト
尙、本年ハ特ニ三十五周年記念品を呈す。
一、申込期間 三月二十七日迄會費御持參申込ノコト
講元 大新榮講 井上貞治郎 平町五丁目 電話六六番